



各 位

2018年10月31日

会 社 名 住友精密工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 田 岡 良 夫
 (コード番号 6355 東証一部)
 問合せ先 執行役員 石 丸 正 吾
 (TEL 06-6489-5816)

第 2 四半期累計期間業績予想との差異 及び営業外収益（為替差益）の計上に関するお知らせ

2018年4月27日に公表しました2019年3月期第2四半期累計期間（2018年4月1日～2018年9月30日）の連結業績予想と、本日公表いたしました2019年3月期第2四半期決算に差異が生じますとともに、同連結累計期間において、営業外収益（為替差益）を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期第2四半期累計期間業績予想との差異

(1) 連結業績予想との差異（2018年4月1日～2018年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	21,000	△ 500	△ 750	△ 650	△ 122.81
第2四半期累計期間実績 (B)	20,686	659	934	448	84.82
増減額(B)－(A)	△ 314	1,159	1,684	1,098	
増減率	△ 1.5%	－	－	－	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期)	20,650	△ 56	△ 42	△ 227	△ 42.93

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたものと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 差異の理由

第2四半期累計期間の連結業績につきましては、航空機用脚部品において、一部出荷時期が下半期へずれ込んだこと等により、売上高は前回予想を下回りました。

一方、営業利益につきましては、上記販売減少の影響を受けつつも、航空宇宙事業における販売構成の改善に加え、同事業の開発費用が下期にずれ込んだこと、また、ICT事業においては、マイクロマシニング装置等の採算性改善や経費等の削減が進展したことに伴い、前回予想から好転いたしました。

経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、営業利益の好転に加え、次項に記載しております為替差益の発生等により、前回予想を上回りました。

なお、2019年3月期通期業績予想につきましては、2018年4月27日に公表の予想数値から変更しておりません。

2. 営業外収益（為替差益）の計上

2019年3月期第2四半期累計期間において、為替の円安が進行したことに伴い、為替差益256百万円を営業外収益に計上いたしました。

なお、上記為替差益256百万円は、当社の外貨建て資産および在外子会社の円建て債務を当第2四半期末時点の為替相場にて算出した期末換算差額を含むものであります。そのため、今後の為替水準の状況により当該為替差損益の額は変動いたします。

以 上